

## 浅間火山耐久シリーズ車両規則書

### 1) 競技車両について、(各クラス共通)

- ・ 競技車両は軽四輪自動車とし、660cc以下で過給機装置(ターボ、スーパーチャージャー等)の装備されていない車両
- ・ ワンボックスワゴン、ハコバン、キャブトラック、ジープタイプの車両は使用不可
- ・ 駆動方式、ミッションは問わない。

### 2) 安全装備、(各クラス共通)

#### 1. ロールバー

- ・ ロールバーのメインルーフが車両室内の中央にしっかりと固定されていること。
- ・ ロールバーの寸法は直径30mm以上、肉厚1.8mm以上で材質はスチールであること、
- ・ 肉厚確認用のホール(3mm)をメインルーフに開け、その周囲を黄色でマーキングすること。
- ・ 取り付けはあて板をあてがい8mm以上のボルトを用いて、1箇所3本以上取り付けること。
- ・ ルーフより30mm以上離れないこと。
- ・ ロールバーの形式は4点取り付け以上とする。
- ・ **OP車両は6点(フロントパイプ)以上を推奨する。**

#### 2. 安全ベルト

- ・ ワンタッチ式フルハーネスタイプとして、4点式以上で確実にボディーに取り付けること。

#### 3. 座席

- ・ ドライバースシートの変更は認める。但し十分な強度を持ったものを確実に取り付けすること。
- ・ 後部座席及び助手席は取り外すこと。

#### 4. フロアーマット

- ・ 取り外すこと、

#### 5. 内張り及び内装、

- ・ 運転席のドア一部以外の取り外しは認める。

#### 6. ウインドシールド

- ・ フロントガラス以外は強度あるアクリル板等への交換は認める。
- ・ フロントガラスが破損した場合に限り応急処置としてアクリル板を装着しての走行を認める。(スタート時はノーマル損傷のないものとする。)
- ・ ドアガラスが破損した場合、強度あるネットを装着しての走行を認める。

#### 7. テーピング

- ・ バッテリーのプラス端子、及びブレーキオイル、パワステオイルのキャップはテーピングすること。(バッテリー端子は絶縁テープのこと)
- ・

### 3) 外装、(各クラス共通)

#### 1. ガード

- ・ ガード類の取り付けは自由とする。但し取り付けは確実にすること。

#### 2. マッドガード

- ・ 幅20cm以上で、地上より15cm以上離れないよう後部左右に確実に取り付けること。
- ・ (後方車両への安全対策)

### 3. ライト

- ・ 取り外しは自由とする。但しはずした場合ウインカー一体のものは代替を確実に取り付けること。
- ・ ライト類の材質がガラスのものは飛散防止のテーピングをすること。

## 4) シャーシ (Nクラス)

### 1. ブレーキ

- ・ ブレーキ及びサイドブレーキはノーマルとする。但しパッド・シューの変更は認める。

### 2. タイヤ・ホイール

- ・ 13インチまでの装着が出来る。
- ・ タイヤサイズ及びタイヤの種類は自由とする。
- ・ タイヤは地表以外他の部分と接触してはならない。

### 3. ショックアブソーバー、スプリング

- ・ 車両に適合する一般に市販されているものへの変更は認める。
- ・ 取り付け位置、形式の変更は出来ない。

### 4. ステアリング

- ・ 自由とする。但し十分強度のあるもの。

## 5) エンジン (Nクラス)

### 1. 本体

- ・ エンジン本体はノーマルであること。一般的なオーバーホールは認める。

### 2. スイッチ

- ・ 運転席及び車外から操作できる、すべての電気回路を遮断できるメインスイッチ(キルスイッチ)を装着することが望ましい。
- ・ メインスイッチの車外操作部は、フロントシールドより前面で、かつステアリングの逆位置に取り付けること。

### 3. キャブレター、インジェクション

- ・ 一切の変更は認めない。

### 4. エアクリナー

- ・ 取り外し、または適合する車外品への変更は認める。

### 5. サーモスタット

- ・ 自由とする。

### 6. ラジエター

- ・ 変更は認めない。但し適合する車外品への変更は認める。競技中の補修はこの限りではない。

### 7. マフラー

- ・ フロントパイプを含め交換は認める。但し騒音の激しくないものとし、確実に取り付けること。
- ・ 脱落した場合は出来る限り修復のこと。

N車両は上記に明記されていないことは改造してはいけない。(レンタル車両はこのクラス)

## 6) オープンクラスについて、

「競技車両」「安全装備」「外装」はNクラスと共通定義とする。

### 1. シャーシ

- ・ N車両の定義以外の変更も認める。但し安全確実に変更すること。また、オフィシャルの問いに説明できること。
- ・ 車幅、車長のサイズは変更してはならない。
- ・ オフィシャルが危険とみなした場合修繕を命ずることもある。

### 2. エンジン

- ・ エンジン本体はノーマルであること。N車両と同じく通常のオーバーホールは認める。
- ・ その他N車両の定義以外の変更も認める。但し安全確実であり、オフィシャルに説明できること。
- ・ オフィシャルが危険とみなした場合修繕を命ずることもある。

### 3. その他

- ・ 車両形状の著しい変更は認めない。
- ・ ボンネット、リアゲートの軽量化は認める。
- ・ その他のボディの軽量化は運転席の強度を落としてはいけない。(サイドバー等の追加)

改造及び追加物の取り付けが安全適切でないと判断された場合、オフィシャルの指示に従い修繕すること。  
牽引フックのない車両やガード等で隠れている場合、牽引フックを車両の前後に取り付けること。